

理科ガッテン!!プリント 42

今日のガッテン度



動物の進化

組

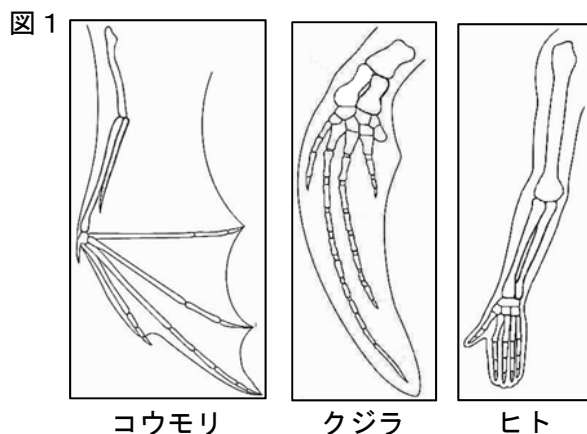
番

名前

基礎の確認

次の(1)，(2)の問いに答えなさい。

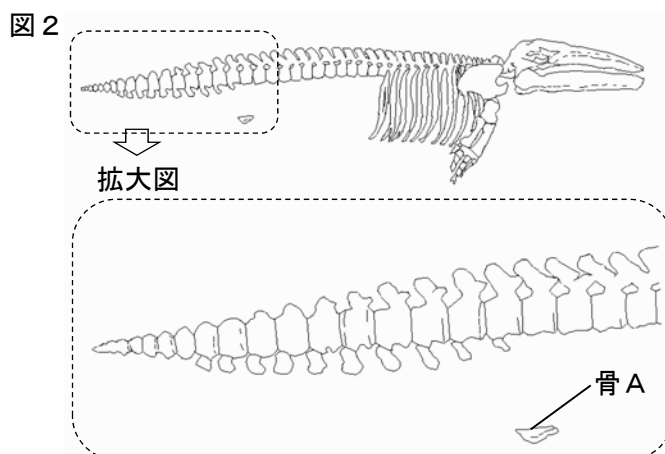
- (1) 図1は、ホニウ類の前あしに当たる部分の骨格を表したものである。また、図2は、クジラの骨格を表したものであり、ホニウ類の後ろあしに当たる部分に骨Aが見られる。次の①，②の問いに答えなさい。



コウモリ

クジラ

ヒト



- ① 図1の3種類のホニウ類は、前あしの使い方は異なるが、基本的な骨格は共通している。このように、現在の形やはたらきは異なっているが、もとは同じであったと考えられる器官を何というか、書きなさい。【知識・理解】

- ② 図2の骨Aは、クジラが陸上で生活をしていたホニウ類から進化したことを示す証拠となっている。進化の途中で、後ろあしに当たる部分の機能（はたらき）はどのようなになったか。次のア～エから最も適切なものを1つ選んで、記号を書きなさい。【思考・表現】

- ア かつての機能が、引き続き現在も使われている。
 イ かつては機能をもっていたのに、現在は使われなくなった。
 ウ かつては機能がなかったのに、新たに機能を果たすようになった。
 エ かつてもっていた機能に加えて、別の機能も果たすようになった。

- (2) 次の文章は、動物の進化についてまとめたものである。次の問いに答えなさい。【知識・理解】

地球上に最初に現れたセキツイ動物は、魚類でした。その後、(X)をもつ両生類へ進化し、水辺に近い陸上でも生息できるようになりました。

Xは、陸上生活への進化の過程でつくられた動物の体のつくりである。その名称を書きなさい。

理科ガッテン!!プリント 42

今日のガッテン度



動物の進化

組

番

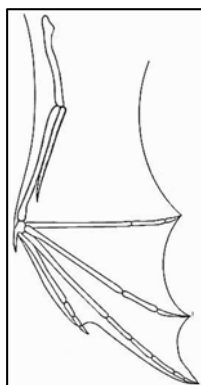
名前

基礎の確認

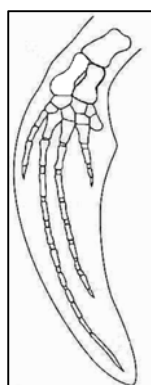
次の(1)，(2)の問いに答えなさい。

- (1) 図1は、ホニウ類の前あしに当たる部分の骨格を表したものである。また、図2は、クジラの骨格を表したものであり、ホニウ類の後ろあしに当たる部分に骨Aが見られる。次の①，②の問いに答えなさい。

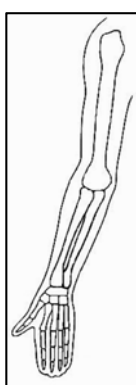
図1



コウモリ

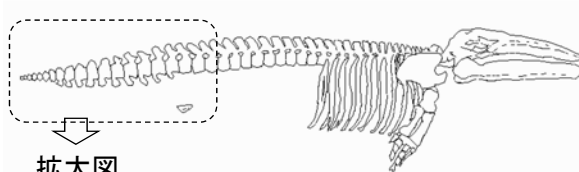


クジラ

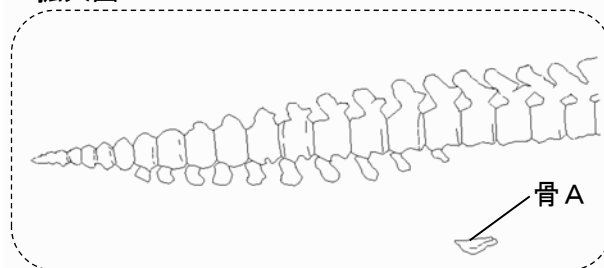


ヒト

図2



拡大図



- ① 図1の3種類のホニウ類は、前あしの使い方は異なるが、基本的な骨格は共通している。このように、現在の形やはたらきは異なっているが、もとは同じであったと考えられる器官を何というか、書きなさい。【知識・理解】

相同器官

- ② 図2の骨Aは、クジラが陸上で生活をしていたホニウ類から進化したことを示す証拠となっている。進化の途中で、後ろあしに当たる部分の機能（はたらき）はどのようなになったか。次のア～エから最も適切なものを1つ選んで、記号を書きなさい。【思考・表現】

- ア かつての機能が、引き続き現在も使われている。
 イ かつては機能をもっていたのに、現在は使われなくなった。
 ウ かつては機能がなかったのに、新たに機能を果たすようになった。
 エ かつてもっていた機能に加えて、別の機能も果たすようになった。

イ

- (2) 次の文章は、動物の進化についてまとめたものである。次の問いに答えなさい。【知識・理解】

地球上に最初に現れたセキツイ動物は、魚類でした。その後、(X)をもつ両生類へ進化し、水辺に近い陸上でも生息できるようになりました。

Xは、陸上生活への進化の過程でつくられた動物の体のつくりである。その名称を書きなさい。

肺